

生活指導部だより

第4号 平成29年11月

1 正しい「制服の着こなし」を！

10月30日（月）から、制服は冬服への完全移行となりました。

制服は、それぞれの学校を象徴するものです。本校は、数年後に創立100周年を迎える伝統校です。数多くの卒業生、そして在校生のみなさんにとって、かけがえのない「母校」の象徴の1つが、制服なのです。

制服は、私服とは一線を画すフォーマルな服装〔正装〕です。決して「着崩す」ものではありません。制服は、定められたとおりに、正しく「着こなす」ものです。まもなく寒い季節が到来しますが、本校の一員であることに誇りをもち、正しく制服を着用しましょう。

《諸注意》

- ・女子のカーディガンの着用は、10月10日（火）から可となっています。ただし、紺色・黒色の無地のみとし、授業中の着用は認めていません。教室移動の際は認めています。
- ・登下校時における防寒着（コート・ジャンパー類）の着用は、原則12月1日から3月末までの期間のみ認めています。
- ・レッグウォーマーは禁止です。
- ・制服の下に着たパーカー等のフードを外に出すことは厳禁です。
- ・登下校時は、制服を着用しなければなりません。ただし、休日にクラブ活動で登校する場合は、練習着でも可となっています。
- ・制服のボタンはきちんと留めましょう。

2 日々の挨拶を心がけよう！

2・3年生のみなさんは、昨年度の冬に、「未来の自分のために今からできること」という題の講演を聴きました。講師として、（株）JSコーポレーションの梅林一弘氏をお招きし、将来、社会人として活躍するために、今から日々実践しておくべきことについて話していただきました。講演のなかで、挨拶をすることの意味や大切さについても話してくださいました。

《挨拶とは》

- ・自分の心を開いて、相手に近づく行為であること。
- ・会話のきっかけとなり、人間関係が築かれること。
- ・自分の第一印象を良くするものであること。
- ・する側もされる側も心地が良くなるものであること。
- ・コミュニケーション能力を鍛える第一歩であること。

学校生活のなかで、友人同士だけでなく、クラスメイト、同級生、先輩・後輩、教職員、来校された方々、地域の方々など、誰にでも自然と挨拶ができる能力を身につけていきませんか？

「挨拶ができる」ことは、身につけるべき社会性の1つです。将来のために、学力を向上させることは、もちろん大切です。ですが同時に、社会性を身につけることも、決して忘れてはなりません。

3 自転車の安全運転を！

年度当初から何度も注意をしてきましたが、一部の生徒に自転車運転の交通違反が見受けられます。

例えば、交差点での一旦停止を守っていないこと、スピードの出しすぎ、スマホを使いながらの運転、雨の日の傘さし運転、無灯火などです。どれも、交通事故につながる大変危険な行為です。事故に遭ってからでは手遅れです。交通ルールの遵守を徹底しましょう。

とくに、本校の正門付近は交差点になっており、死角もあって大変危険です。正門前の道路は比較的狭いですが、高速道路方面への抜け道でもあり、自動車やバイクの通行が少なくありません。正門の看板に標記している通り、校内から正門を出る際には、必ず一旦停止をし、左右の安全確認をしてから校外へ出るようにしましょう。安全を確認せずに、正門から道路へ飛び出すことは絶対にやめましょう。

地域の方々から、みなさんの自転車通学の様子について、しばしば心配の声が寄せられています。今一度、全員が自らの自転車運転を見つめなおし、改めるべきところは改め、交通安全を徹底しましょう。あなた自身と、周囲の人を守るために…。

（生活指導部長 小竹 博允）

